



払沢の滝

払沢の滝は、落差およそ六十メートルの四段からなる滝です。全体がはつきりと見えるのは、最下段の一の滝で、落差は約二十三・三メートルです。毎年八月に、払沢の滝夏まつりが行われています。まつりでは払沢の滝がライトアップされ、幻想的な風景が訪れた人の目を楽しませてくれます。冬には寒さが厳しいため、滝が結氷します。このように、春夏秋冬でいろいろな表情を見せてくれます。

名前の由来

昔は払子（ほっす）の滝と呼ばれていました。と言いますのも、滝の水が流れ落ちるさまが、僧侶の払子を垂れたように見えたからであります。そこで、払子の滝がある沢なので払子の滝、払子沢、払沢となり、今現在では払沢の滝とされています。



伝説

近年、土砂の流入によりかなり浅くなってしまうましたが、以前の滝壺は、深くて神秘性が高かったため、主（大蛇）が棲んでいたという伝説が残されています。古老に伝わる民話では、その主は千年も二千年も生き続け、人間など何にも化けられたそうです。また、別名「雨乞いの滝」とも呼ばれ、昔から村民に拜まれていたとのこと。

檜原村
ひのはらむら

払沢の滝

ほっさわ

東京で唯一の「日本の滝百選」



● 払沢の滝へのアクセス

バスで「藤倉」行き、「小岩」行き、「払沢の滝入口」行き、「数馬」行きにご乗車の場合は、払沢の滝経由又はやすらぎの里経由にご乗車、「払沢の滝入口」にて下車して下さい。

「払沢の滝入口」バス停より、徒歩約20分。